

なつやすみ所蔵企画展

額縁のむこうの FRANCE ―心惹かれる芸術の地―

期間：2024 年 7 月 13 日(土)－9 月 23 日(月・休)

※ 8/19(月)に一部展示替えを行います。



ポール・セザンヌ 《麦藁帽子をかぶった子供》

メナード美術館蔵

制作年：1896～1902 年頃 材質：油彩、カンヴァス

サイズ：80.8 × 54.8cm

20 世紀の芸術に大きな影響を与え、「近代絵画の父」と呼ばれるフランスの画家・セザンヌ（1839 - 1906）。明るい陽光のなかに座る人物は、その素朴な様子から画家の故郷・南仏のプロヴァンス地方に住む農民の子供でしょう。

この作品にもみられる楕円形の組み合わせによる顔や帽子には、セザンヌの言葉としてよく引用される「自然において、すべては球形、円錐形、円筒形としてかたどられる」という一文が思いおこされます。光の存在を感じさせる塗り残し、空間を組み立てている一方向に揃えられた筆の跡や背景の四角の色面など、セザンヌの新しい技法は、キュビズムの画家にも影響を与えました。

展覧会関連イベント

アーティスト・トーク「画家のまなざしーベルサイユでの制作から」

申込先着 30 名 ※ 7/13(土) 10:00 より申込受付開始

本展出品作家でフランス在住の鈴木宗樹氏によるトークイベント

日時：9/16(月・祝) 14:00 ～ (約 90 分)

話し手：鈴木宗樹氏（画家）

会場：アネックス・ホール（別館）・展示室

*当日の入館券が必要

*申込方法等の詳細はホームページをご確認ください。

※展覧会の会期、内容等が変更になることがあります。
※最新の情報はメナード美術館ホームページをご確認ください。

Photo
News



5/22

健康づくりの推進に向けて



市と中北薬品(株)との間で「健康づくり等の推進に係る包括連携協力に関する協定」における締結式を行いました。

この協定に基づき、市民の健康づくりや生きがいづくりに係る取組など、さまざまな分野において相互の資源を有効に活用し、取組の推進を目指します。

中北薬品(株)の山本哲也常務取締役は「幅広い世代の市民の皆さんが健康で安心して暮らせるまちづくりのために、いろいろな分野において力を入れていきたい」と話しました。

5/25・26

地域産業を盛り上げよう



「こまき産業フェスタ 2024」が、パークアリーナ小牧で開催されました。

今年のこまき産業フェスタは「小牧の未来をみんなで考え、新たな可能性へのチャレンジ」をテーマに、市内企業の事業活動を広く市民に知ってもらうと共に、市民と企業の交流を促進し地域産業の活性化を図ることを目的に開催されました。会場では、市内企業による展示・販売や飲食コーナーのほか、SDGs クイズラリーなども実施され、多くの来場者で賑わいました。

詳しくはこちら▶

